



遺伝子診断とアンジェリーナ・ジョリーの決断

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

古くからがんが多発する家系の存在は知られており、家族性がんと呼ばれています。この中でも、単一遺伝子の生まれながらに存在する遺伝子変異で発症するものを遺伝性がんと呼びます。若年発症であり、多重がん、家族集積性という特徴を持ちます。

ある種の遺伝子に病的変異があると乳がんおよび卵巣がんの発症リスクが極めて高くなり、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（HBOC）と呼ばれます。20代後半からのMRIを含む乳がん検診が推奨され、リスク低減のために予防的乳房切除術・卵巣卵管切除術を受けることでがん発症のリスクを大きく減少させ、生存率も改善するとの報告があります。

米国女優のアンジェリーナ・ジョリーは、2013年のニューヨーク・タイムズ紙に自らの経験としてこの予防的手術を受けた経緯を寄稿しました。彼女の母親は、49歳で卵巣がんと診断され、その後乳がんも発症し56歳で亡くなっています。さらに母方の祖母が卵巣がん、叔母も乳がん亡くなっています。彼女自身、遺伝子診断でBRCA1遺伝子に異常があるといわれました。何もしなければ87%の確率で乳がん、そして50%の確率で卵巣がんになると診断され、手術に踏み切ったと述べています。そして、この経験が少しでも他の多くの女性の役に立てばという強い思いがあって公表しました。

日本においても、遺伝子検査や遺伝子診断は、疾患の治療や予防の適切な選択など、広く利用されつつありますが、検査のメリットとデメリット、その限界についての十分な理解が必要であり、被検者および被検者の血縁者にも社会的不利益がもたれられる可能性を十分認識する必要があります。今後、「医療における遺伝子学的検査・診断に関するガイドライン」に基づいた、社会的なコンセンサスの醸成が強く求められます。



健診センター

質が高く、安全で、温かみのある健診を目指して

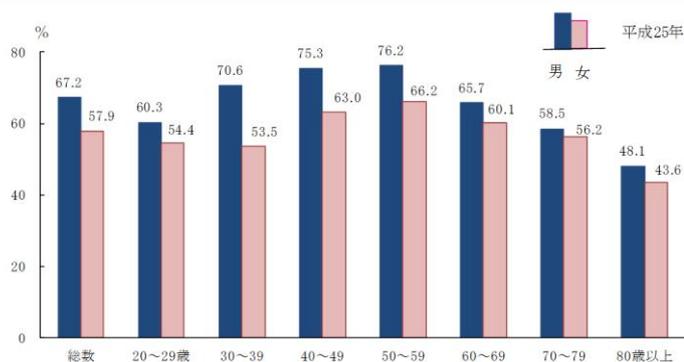
健康診断（けんこうしんだん）とは、診察および各種の検査で**健康状態**を評価することで**健康**の維持や疾患の予防・早期発見に役立てるもので、**健診**（けんしん）、**健康診査**とも呼ばれます。

健康、お金、安定、若さ、自由 これらは欲しいものを3つ挙げた場合にほぼベスト5に入るものです。世代によって若干差異がありますが、欲しいものの不動の1位は“健康”です。

健康意識の高まりは、高齢化社会を迎えている現在、当然の結果と言えますが、病気になってから治す、怪我をしてから治療するではなく、高齢者になっても病気にならない体、怪我をしにくい体を作っていくことが大事になります。つまり、予防が肝心になるわけですが、その第一歩が、「**健康診断**」です。

厚生労働省の調査によると 20歳以上の者（入院者は除く）について、過去1年間の健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診状況を性別にみると、男 67.2%、女 57.9%で男が高くなっており、年齢階級別にみると、男女ともに「50～59歳」が最も高く、男で 76.2%、女で 66.2%となっています。10年前は受診率 55.8%だったことを考えると、その伸び具合が分かります。

世代別健康診断受診率



注：入院者は含まない。

厚生労働省ホームページより

健康寿命の延伸を実現する為には、健康状態のチェックが不可欠です。少なくとも年に一度、ご自身の健康状態をチェックする意味で、また大切なご家族の為にも、健康診断を受診しましょう。

皆様の健康で活動できる寿命を延ばし、「幸せます」と言える長寿に貢献すべく、人間ドックをはじめ、各種健康診断・検査を用意してお待ちしております。

5月よりメンバーも再編されました。私たちは、皆様の健康を笑顔でサポートさせていただきたいと心より願っています。ご心配なことがございましたら、いつでもお気軽にお声をかけてください。

また、病院併設の健診センターですので、万が一お体の異常が見つかった場合、万全のフォローアップ体制が整っております。専門医等による検査もさらに充実いたしました。お気軽にご相談下さい。



ご受診をお待ちしています

2018年7月中旬より、リハビリ専門職が2名入りました。理学療法士1名、作業療法士1名の合計2名で入院患者さまのリハビリを順次開始しております。8月の終わりには、理学療法士がもう1名着任いたします。

2018年8月より、1階待合スペースにリハビリ機能訓練室ができました。入院して手術や治療を受けた方に対して、運動療法による筋力訓練・体操や、動作方法を変更し疲れにくい動作練習を行うなど、入院前に近い生活が送れるように支援をします。

<リハビリのできる事>

- ・筋力増強訓練
- ・関節可動域訓練
- ・呼吸訓練（排痰促し、呼吸方法）
- ・歩行練習（歩行補助具、補装具の選定・調整）
- ・心理的サポート
- ・作業活動（手芸・趣味活動）
- ・安楽姿勢の検討・調整
- ・介助指導
- ・環境調整（住宅改修案提示）
- ・福祉機器の選定
- ・日々の動作でお困りごとの相談



1階の吹き抜け、ゆったりとした空間でのリハビリをご提供します。また、広々と空間を確保した病棟や3階の中庭など、また、気候の良い時期は屋外などもよいリハビリスペースとなります。

リハビリを必要とされる患者さまへ、お力添えができるよう、微力ながら頑張っていきます。よろしくお願いたします。

第121回健康公開講座のご案内

「あなたの食道は大丈夫？」

～胸焼け・のどのつまりと胃酸の話～

第121回の健康公開講座は、当院消化器内科部長の藤原純子医師が講演いたします。近年増加傾向にあるという食道がんや逆流性食道炎も含め、病気と食事との関係など興味深いお話になると思います。どうぞ皆様お誘いあわせの上、ご来場くださいませ。



消化器内科部長
藤原 純子 医師

～ 2018年8月24日（金）19:00開演 アスピラート3階 ～

外来診療予定表

(2018年7月～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診	藤原 9:00～	柿本 (1・3・5週)	藤原 9:00～	竹尾		交代制
	3診	竹尾	松岡	竹尾	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	鴨打	柿本	鴨打	鴨打	
	6診	南園	戸田 9:00～	南園		柿本	
午後		戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33
TEL: 0835-22-3339 (代表)
HP: <http://www.hofu-icho.or.jp>

■交通機関のご案内

- 【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)
または JR 防府駅より徒歩 10分
- 【バス】 防府市役所前下車
- 【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

★地域医療連携・相談室から★

地域医療連携・相談室では、地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835) 25-8754 (直通) 担当: 岡屋・金子・三宅

編集後記

8月も半ばを過ぎ、極暑酷暑を潜り抜け、漸く朝夕の空気にそこはかかない秋の気配も感じられるようになってまいりました。暦の上ではあとわずかで「秋」になります。しばらくは残暑厳しく、特に今年は暑かった夏の疲れが出やすいのではないかと思います。ほっとした瞬間にやっと疲れに気づくこともあります。時折、身体の語りにも耳を傾けて、ささやきのうちに健診を受けられてはいかがでしょうか。お待ちしております。

事務局長 栗林 左知